

|                     |   |
|---------------------|---|
| タイトル                | 「進行期卵巣癌における核医学トレーサーとバイオマーカーによる化学療法感受性の予測」   |
| 名前・役職               | 倉田 精二   |
| 講座・部門               | 放射線医学講座   |
| 研究領域                | 癌・腫瘍(卵巣癌)   |
| 重点研究分野への該当          | 診断方法(予後予測)  |
| キーワード               | 核医学 ・ バイオマーカー ・ 薬剤耐性  |
| 対象疾患                | 卵巣癌   |
| 研究概要<br>(背景・目的・特徴)  | <p>(研究背景)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卵巣癌は、標準的化学療法が確立されているが、近年、薬剤耐性の癌が存在すると報告されている。</li> <li>・薬剤耐性については、十分な検討がされておらず、治療前に薬剤耐性癌であるかどうかを知ることは重要である。</li> <li>・卵巣癌における薬剤耐性癌には、あるバイオマーカーの発現が関連している。</li> <li>・癌の核医学検査として腫瘍シンチグラフィが有用であると注目されているが、婦人科系癌では十分な検討がされていない。</li> </ul> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行期卵巣癌を対象として腫瘍シンチグラフィを用いた集積状況を観察し、化学療法の効果および予後との相関、また薬剤耐性に関連するバイオマーカーとの相関を検討する。</li> </ul> |
| 期待される効果             | 患者の化学療法感受性の予測診断   |
| 概略図                 | <p>・治療前に薬剤耐性癌であるかどうかの診断は重要である。</p> <p>・肺癌などの薬剤耐性癌の診断に、核医学(腫瘍シンチグラフィ)が有用であるという報告がある。</p> <p>・婦人科系癌を対象とした腫瘍シンチグラフィの有用性は十分に検討されていない。</p> <p><b>&lt;本研究&gt;</b><br/>腫瘍シンチグラフィを用いて集積状況を観察し、治療後の無再発期間や全生存期間との相関を比較する。</p> <p>卵巣癌における腫瘍シンチグラフィの有用性</p> <p>卵巣癌における新規診断方法の開発</p>   |
| 今後の方針<br>(科研費報告書より) | 引き続き対象症例の収集と核医学検査(99mTc-sestamibi検査)の実施を行っていく。症例収集と核医学検査の実施終了後に免疫組織学的評価と核医学検査の定量評価を比較検討する。<br><a href="https://kaken.nii.ac.jp/d/p/23591806.ja.html">https://kaken.nii.ac.jp/d/p/23591806.ja.html</a>   |
| 関連特許                | 無   |
| 共同研究先               | 無   |
| 技術段階                | 研究段階      実用化段階   |
| 関連する論文              | ・Comparison Between Endoscopic Macroscopic Classification and F-18 FDG PET Findings in Gastric Mucosa-Associated Lymphoid Tissue Lymphoma Patients.Hirose Y, et.al. Clin Nucl Med. 2012 Feb;37(2):152-  |